

第12回 諸外国における対日メディア世論調査 調査結果

新聞通信事業に関する調査研究、資料収集、講演会の開催などを行っている公益財団法人新聞通信調査会（理事長 西沢豊）は、2025 年 11 月～12 月に「諸外国における対日メディア世論調査」を実施、その結果を 7 日発表しました。

調査は、米国、英国、フランス、韓国、タイ、ロシアの 6 カ国において、各国約 1,000 人の回答を得ました。米国は電話調査と WEB 調査の併用、英国、フランス、韓国、ロシアは電話調査、タイは面接調査で行いました。「対日メディア世論調査」は 2015 年から年 1 回、米国、英国、フランス、韓国、タイ、中国の 6 カ国で行っていましたが、一昨年度から中国での調査ができなくなりました。昨年度からはロシアを調査国に加えました。主な調査結果は以下の通りです。

「米国」は平和への脅威、各国で増加

・現在、どの国が世界平和への最大の脅威になっていると思うか尋ねたところ、2 年前に同じ質問をした米、英、仏、韓、タイの 5 カ国ではいずれも「米国」の割合が増加した。「中国」は欧米 3 カ国で減少したが、韓国で 9.1 ㊦の増加。（資料編 1㊦ 図表 2）

・米国、英国、フランスでは「ロシア」、韓国では「中国」、タイ、ロシアでは「米国」が 1 位だった。（資料編 1㊦ 図表 1）

・昨年 7 月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、1 位「ロシア」、2 位「中国」。「米国」が前年度調査より 10.9 ㊦増加し 3 位に上昇。（資料編 1㊦ 図表 1、2）

2026 年 2 月 7 日
公益財団法人 新聞通信調査会

トランプ大統領「世界に悪い影響」各国で5割超

・米国のトランプ大統領について「世界に悪い影響」（「世界に悪い影響を与えている」と「どちらかと言えば世界に悪い影響を与えている」の計）と答えた人は、韓国、フランス、タイは7割台、次いで英国が62.3%、米国が57.9%、ロシアが52.2%だった。一方、「世界に良い影響」（「世界に良い影響を与えている」と「どちらかと言えば世界に良い影響を与えている」の計）と答えた人の割合は、米国が42.0%で最も多いが、他の5カ国は2～3割台にとどまった。

・昨年7月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「世界に良い影響」と答えた人は17.7%にとどまり、「世界に悪い影響」と答えた人が79.4%と多数を占めた。（資料編2 図表3）

トランプ的指導者に7割以上が拒否感

・トランプ大統領のような人に、自国の指導者になってほしいと思うか尋ねたところ、米国を除く5カ国では「なってほしいと思わない」（「なってほしいと思わない」と「どちらかと言えばなってほしいと思わない」の合計）と答えた人が、多数を占めた。ロシアとタイは約9割、フランスが83.7%、韓国、英国で7割台半ば。米国では、「なってほしいと思う」（「なってほしいと思う」と「どちらかと言えばなってほしいと思う」の合計）が42.0%で、「なってほしいと思わない」が57.9%と上回った。（資料編3 図表4）

韓国の対日好感度、5割超える

・日本に対する好感度はタイ 94.7%、米国 86.5%、フランス 85.4%、英国 82.6%。前回と比べると、フランスは5.4 ㊦の上昇。ロシアは56.5%で前回より12.5 ㊦の低下。韓国は前回より15.8 ㊦上昇して56.4%と調査開始以来、初めて半数を超えた。

・各国の好感度が高い上位3位は、米国が日本、自国、英国、英国が日本、タイ、自国、フランスが日本、英国、自国、韓国が自国、米国、英国、タイが自国、日本、英国、ロシアが自国、中国、タイ。

・前回からの変化を見ると、米国に対する好感度は軒並み低下、中でもタイで9.9 ㊦の低下。中国に対する好感度は、米国とフランスで5 ㊦以上の上昇。韓国に対する好感度は、フランスとタイで5 ㊦以上の上昇。ロシアは、自国以外の対象国に対して前回から好感度は低下し、とりわけフランス、日本、タイ、英国に対して5 ㊦以上の低下。（資料編4 図表5）

日本についての報道、「科学技術」に期待

・日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで 84.9%と最も高く、次いで韓国で 78.3%。以下、フランス 58.9%、米国 56.8%、英国 32.5%、ロシア 29.0%。韓国では前回調査で 10 ㊦低下したが、今回は 10 ㊦上昇した。(資料編 5 ㊦ 図表 6)

・日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1 位は 6 カ国すべてで「科学技術」。タイは「観光情報」も同率で 1 位。2 位には、米国、フランスは「国際協力や平和維持活動」、英国は「生活様式や食文化」、韓国は「政治、経済、外交政策」、ロシアは「観光情報」が続いた。(資料編 5 ㊦ 図表 7)

新聞の情報信頼度は英国を除き上昇

・新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は 100 点、全く信頼をしていない場合は 0 点、普通の場合は 50 点として点数をつけてもらったところ、タイが 61.5 点で 1.0 点の上昇、フランスが 56.6 点で 3.2 点の上昇、米国が 54.0 点で 0.2 点の上昇、韓国が 53.6 点で 0.9 点の上昇、英国が 44.0 点で 0.4 点の低下だった。昨年 7 月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は 66.2 点だった。(資料編 6 ㊦ 図表 8)

・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、「気にする」(「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計)と答えた人は、フランスが 87.0%で最も多く、次いで米国で 85.7%、タイで 85.6%。以下、韓国 (70.7%)、ロシア (68.3%)、英国 (66.4%) だった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが 72.5%で最も多く、次いで米国が 49.6%、ロシアが 44.4%、英国が 41.2%。昨年 7 月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が 50.8%、そのうち「いつも気にする」のは 14.7%だった。(資料編 6 ㊦ 図表 9)

ニュース視聴、SNS が存在感

・ニュース視聴利用媒体の 1 位は米国、タイ、ロシアで SNS (Facebook、X など)、英国、フランス、韓国でテレビ (複数回答)。2 位は、米国、ロシアでテレビ、英国で SNS、フランスで新聞、韓国、タイでインターネットのニュースサイト。(資料編 7 ㊦ 図表 10)

・新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、6 カ国すべてで「電子版のみ」が「紙のみ」や「両方」よりも多かった。(資料編 7 ㊦ 図表 11)

調査の概要

●調査国と調査日程、調査方法、調査会社、調査地域

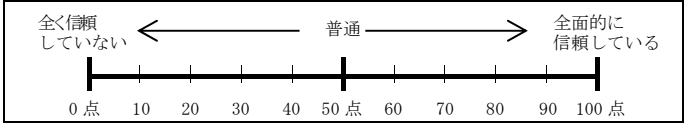
調査国	調査日程	調査方法	調査会社	調査地域
米国	11月20日～11月23日	電話調査 WEB 調査 併用	S S R S	全国
英国	11月26日～12月3日	電話調査	I P S O S UK	全国
フランス	11月18日～12月2日	電話調査	C S A	全国
韓国	12月1日～12月9日	電話調査	Gallup Korea	全国
タイ	11月17日～12月18日	面接調査	I P S O S Thailand	バンコク、チェンマイ、 ウドーンターニー、 ソンクラー
ロシア	11月21日～12月8日	電話調査	ExtremeScan	全国

※電話調査では、複数回答の質問において、回答に偏りが出ないように、選択肢の読み上げ順をランダムにした。

●回収サンプルの構成

米国	男性	497	49.0%
	女性	518	51.0%
	10代(18-19歳)	11	1.1%
	20歳代	166	16.4%
	30歳代	202	19.9%
	40歳代	173	17.0%
	50歳代	152	15.0%
	60歳代	177	17.4%
	70歳以上(70-94歳)	134	13.2%
	合計	1,015	100.0%
韓国	男性	504	50.4%
	女性	496	49.6%
	10代(19歳)	10	1.0%
	20歳代	112	11.2%
	30歳代	137	13.7%
	40歳代	171	17.1%
	50歳代	226	22.6%
	60歳代	204	20.4%
	70歳以上(70-80歳)	140	14.0%
	合計	1,000	100.0%
英国	男性	540	54.4%
	女性	453	45.6%
	10代(16-19歳)	38	3.8%
	20歳代	119	12.0%
	30歳代	164	16.5%
	40歳代	146	14.7%
	50歳代	159	16.0%
	60歳代	187	18.8%
	70歳以上(70-93歳)	180	18.1%
	合計	993	100.0%
タイ	男性	500	50.0%
	女性	500	50.0%
	10代(18-19歳)	51	5.1%
	20歳代	229	22.9%
	30歳代	230	23.0%
	40歳代	260	26.0%
	50歳代	171	17.1%
	60歳代	50	5.0%
	70歳以上(70-81歳)	9	0.9%
	合計	1,000	100.0%
フランス	男性	491	49.1%
	女性	510	50.9%
	10代(18-19歳)	16	1.6%
	20歳代	108	10.8%
	30歳代	203	20.3%
	40歳代	183	18.3%
	50歳代	171	17.1%
	60歳代	114	11.4%
	70歳以上(70-95歳)	206	20.6%
	合計	1,001	100.0%
ロシア	男性	627	62.3%
	女性	380	37.7%
	10代(18-19歳)	34	3.4%
	20歳代	120	11.9%
	30歳代	207	20.6%
	40歳代	280	27.8%
	50歳代	157	15.6%
	60歳代	125	12.4%
	70歳以上(70-88歳)	84	8.3%
	合計	1,007	100.0%

●質問一覧

質問	選択肢
問 1. あなたは、次の国々についてどう思っていますか。(回答はそれぞれ1つずつ) (1) 米国 (2) 英国 (3) フランス (4) ロシア (5) 日本 (6) 中国 (7) 韓国 (8) タイ	1 とても好感が持てる 2 やや好感が持てる 3 あまり好感が持てない 4 全く好感が持てない
問 2. あなたは、日本のことが報道されると関心を持って見聞きますか。(回答は1つ)	1 とても関心がある 2 やや関心がある 3 あまり関心がない 4 全く関心がない
問 3. あなたは、次のことがらを自国のメディアが積極的に報道してほしいと思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ) (1) 日本の政治、経済、外交政策 (2) 日本の国際協力や平和維持活動 (3) 日本の科学技術 (4) 日本の歴史と文化 (5) 日本の生活様式や食文化 (6) 日本のファッション、アニメ、音楽 (7) 日本の観光情報	1 積極的に報道してほしい 2 報道してほしい 3 あまり報道しなくてもよい 4 報道しなくてもよい
問 4. あなたは、ふだんニュースをどの媒体で視聴していますか。あてはまるものをすべてお答えください。(回答はいくつでも)	1 新聞(紙面) 2 新聞(電子版、オンライン) 3 テレビ 4 ラジオ 5 インターネットのニュースサイト 6 SNS (Facebook、X (旧 twitter) など) 7 雑誌
問 5. あなたは、インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所(報道機関名などの配信元)を気にしますか。(回答は1つ)	1 いつも気にする 2 まあ気にする 3 あまり気にしない 4 全く気にしない
問 6. 現在のあなたの日常生活において、新聞の情報をどの程度信頼しているか、点数でお答えください。全面的に信頼している場合は100点、全く信頼していない場合は0点とし、普通の場合を50点としてお答えください。「新聞を読まない」あるいは「分からない」場合でも、大体の感じでお答えください。	
問 7. この中から選ぶとすれば、あなたは、現在、どの国が世界平和への最大の脅威になっていると思いますか。(回答は1つ)	1 米国 2 ロシア 3 ウクライナ 4 イスラエル 5 イラン 6 中国 7 日本 8 北朝鮮
問 8. あなたは、国民が選んだ代表者が法律を作る代議制民主主義についてどう思いますか。(回答は1つ)	1 良いものだ 2 どちらかと言えば良いものだ 3 どちらかと言えば悪いものだ 4 悪いものだ
問 9. あなたは国内に、外国人が増えることについてどう思いますか。(回答は1つ)	1 良いことだ 2 どちらかと言えば良いことだ 3 どちらかと言えば悪いことだ 4 悪いことだ
問 10. あなたは、米国のトランプ大統領についてどう思いますか。(回答は1つ)	1 世界に良い影響を与えている 2 どちらかと言えば世界に良い影響を与えている 3 どちらかと言えば世界に悪い影響を与えている 4 世界に悪い影響を与えている
問 11. あなたは、米国のトランプ大統領のような人に、自国の指導者になってほしいと思いますか。(回答は1つ)	1 なってほしいと思う 2 どちらかと言えばなってほしいと思う 3 どちらかと言えばなってほしいと思わない 4 なってほしいと思わない

第 12 回 諸外国における対日メディア世論調査

2026 年 2 月 7 日発行

発行 公益財団法人 新聞通信調査会

東京都千代田区内幸町 2-2-1

日本プレスセンタービル 1 階

電話 03-3593-1081

資料編

「米国」は平和への脅威、各国で増加

- ・ 現在、どの国が世界平和への最大の脅威になっていると思うか尋ねたところ、2年前に同じ質問をした米、英、仏、韓、タイの5カ国ではいずれも「米国」の割合が増加した。「中国」は欧米3カ国で減少したが、韓国で9.1ポイントの増加。
- ・ 米国、英国、フランスでは「ロシア」、韓国では「中国」、タイ、ロシアでは「米国」が1位だった。
- ・ 昨年7月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、1位「ロシア」、2位「中国」。「米国」が前年度調査より10.9ポイント増加し3位に上昇。

図表1 世界平和への最大の脅威と思う国（問7） (%)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
米国	ロシア 37.5(37.6)	中国 18.3(26.6)	米国 11.8(7.3)	北朝鮮 10.6(9.3)	イラン 9.9(12.8)	イスラエル 7.4(4.3)	ウクライナ 3.4(0.9)	日本 1.0(1.2)
英国	ロシア 51.3(48.6)	米国 13.1(10.8)	イスラエル 10.1(8.8)	中国 7.2(10.8)	イラン 5.7(7.5)	北朝鮮 2.5(5.3)	ウクライナ 1.3(0.6)	日本 0.4(0.4)
フランス	ロシア 49.0(40.5)	イスラエル 14.5(10.2)	米国 13.9(9.2)	イラン 5.1(12.8)	北朝鮮 4.9(8.9)	中国 2.9(8.7)	ウクライナ 2.8(1.7)	日本 0.5(0.3)
韓国	中国 28.7(19.6)	北朝鮮 21.7(28.3)	ロシア 18.8(21.9)	米国 16.4(12.4)	イスラエル 5.5(6.1)	日本 2.5(6.5)	イラン 1.9(2.2)	ウクライナ 0.9(0.7)
タイ	米国 22.2(15.4)	ロシア 19.6(21.8)	イスラエル 15.6(21.8)	北朝鮮 13.2(10.4)	ウクライナ 10.3(10.5)	イラン 6.5(9.2)	中国 5.9(7.1)	日本 0.2(0.3)
ロシア	米国 47.2	ウクライナ 14.0	イスラエル 12.5	ロシア 3.4	イラン 2.7	中国 2.3	北朝鮮 1.5	日本 0.8
日本	ロシア 34.3(40.7)	中国 24.3(27.0)	米国 17.5(6.6)	北朝鮮 12.1(15.7)	日本 3.7(3.2)	イスラエル 3.0(1.8)	ウクライナ 1.0(0.5)	イラン 0.8(0.9)

※ロシアを除く5カ国の()内は、第10回調査の結果。

※図表中の日本については「第18回メディアに関する全国世論調査（2025年）」より参考として表記。

「第18回メディアに関する全国世論調査（2025年）」は2025年7月に全国18歳以上の5,000人を対象に訪問留置法で行い2,665人（有効回収率53.3%）から回答を得た。以下同じ。

日本の()内は、2024年度調査の結果。

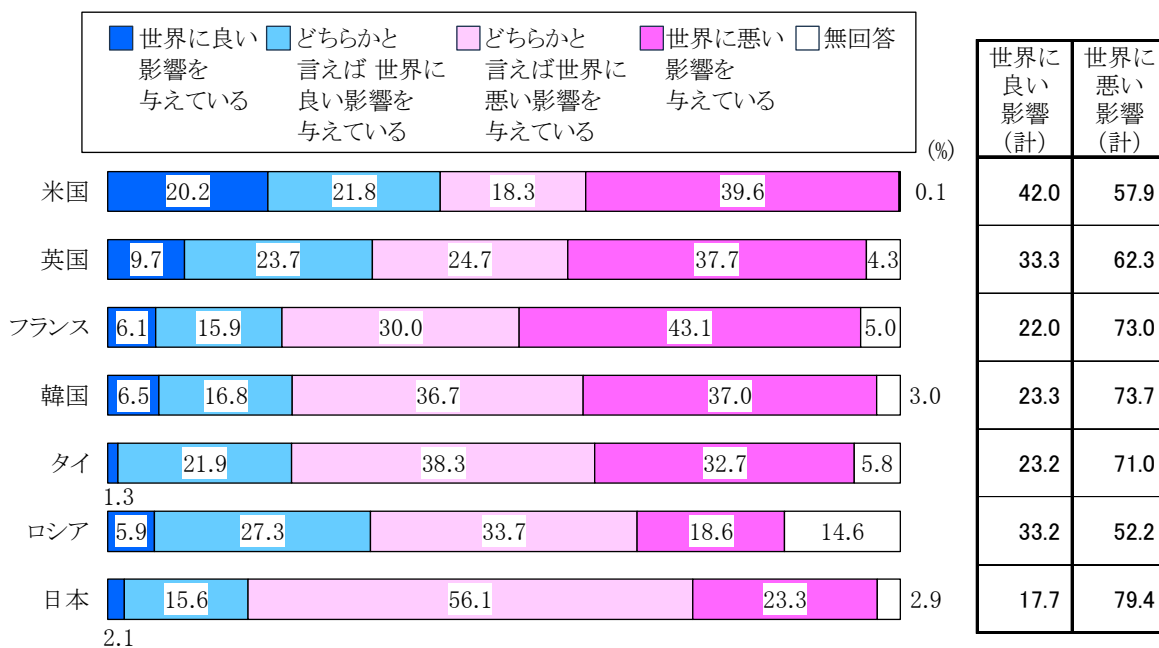
図表2 世界平和への最大の脅威と思う国（第10回調査との差） (%)

		米国	ロシア	ウクライナ	イスラエル	イラン	中国	日本	北朝鮮
実施国	米国	4.5	-0.1	2.5	3.1	-2.9	-8.3	-0.2	1.3
	英国	2.3	2.7	0.7	1.3	-1.8	-3.6	0.0	-2.8
	フランス	4.7	8.5	1.1	4.3	-7.7	-5.8	0.2	-4.0
	韓国	4.0	-3.1	0.2	-0.6	-0.3	9.1	-4.0	-6.6
	タイ	6.8	-2.2	-0.2	-6.2	-2.7	-1.2	-0.1	2.8
	日本	10.9	-6.4	0.5	1.2	-0.1	-2.7	0.5	-3.6

トランプ大統領「世界に悪い影響」各国で5割超

- ・ 米国のトランプ大統領について「世界に悪い影響」（「世界に悪い影響を与えている」と「どちらかと言えば世界に悪い影響を与えている」の計）と答えた人は、韓国、フランス、タイは7割台、次いで英国が62.3%、米国が57.9%、ロシアが52.2%だった。一方、「世界に良い影響」（「世界に良い影響を与えている」と「どちらかと言えば世界に良い影響を与えている」の計）と答えた人の割合は、米国が42.0%で最も多いが、他の5カ国は2～3割台にとどまった。
- ・ 昨年7月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「世界に良い影響」と答えた人は17.7%にとどまり、「世界に悪い影響」と答えた人が79.4%と多数を占めた。

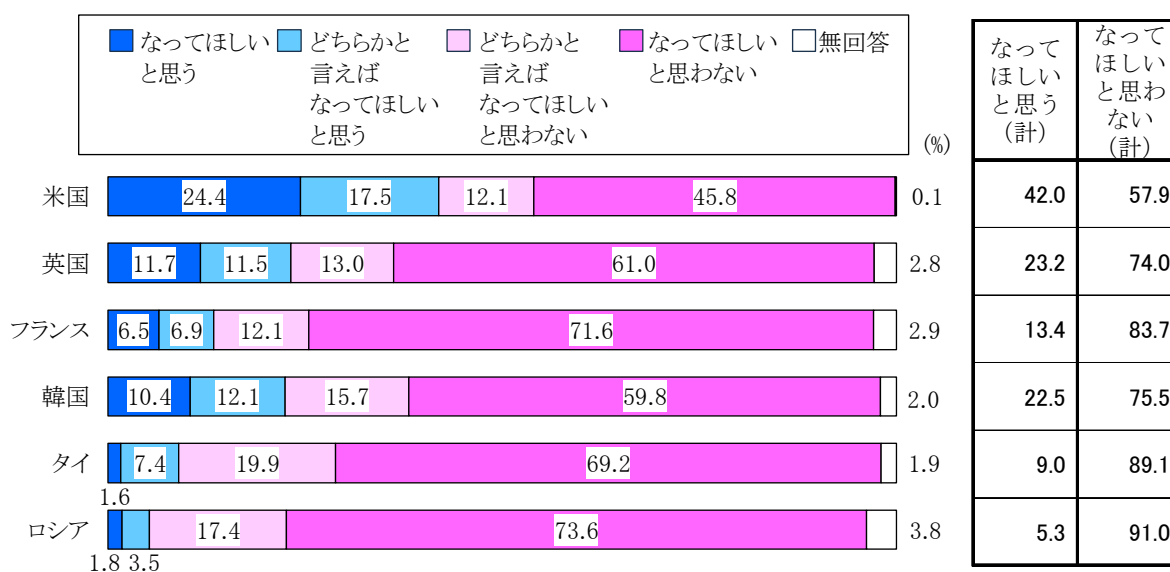
図表3 トランプ大統領の世界への影響（問10）



トランプ的指導者に 7 割以上が拒否感

- ・ トランプ大統領のような人に、自国の指導者になってほしいと思うか尋ねたところ、米国を除く 5 カ国では「なってほしいと思わない」（「なってほしいと思わない」と「どちらかと言えばなってほしいと思わない」の合計）と答えた人が、多数を占めた。ロシアとタイは約 9 割、フランスが 83.7%、韓国、英国で 7 割台半ば。米国では、「なってほしいと思う」（「なってほしいと思う」と「どちらかと言えばなってほしいと思う」の合計）が 42.0%で、「なってほしいと思わない」が 57.9%と上回った。

図表 4 トランプ大統領のような人に自国の指導者になってほしいか（問 11）



韓国の対日好感度、5割超える

- ・ 日本に対する好感度はタイ 94.7%、米国 86.5%、フランス 85.4%、英国 82.6%。前回と比べると、フランスは 5.4 ㊦の上昇。ロシアは 56.5%で前回より 12.5 ㊦の低下。韓国は前回より 15.8 ㊦上昇して 56.4%と調査開始以来、初めて半数を超えた。
- ・ 各国の好感度が高い上位 3 位は、米国が日本、自国、英国、英国が日本、タイ、自国、フランスが日本、英国、自国、韓国が自国、米国、英国、タイが自国、日本、英国、ロシアが自国、中国、タイ。
- ・ 前回からの変化を見ると、米国に対する好感度は軒並み低下、中でもタイで 9.9 ㊦の低下。中国に対する好感度は、米国とフランスで 5 ㊦以上の上昇。韓国に対する好感度は、フランスとタイで 5 ㊦以上の上昇。ロシアは、自国以外の対象国に対して前回から好感度は低下し、とりわけフランス、日本、タイ、英国に対して 5 ㊦以上の低下。

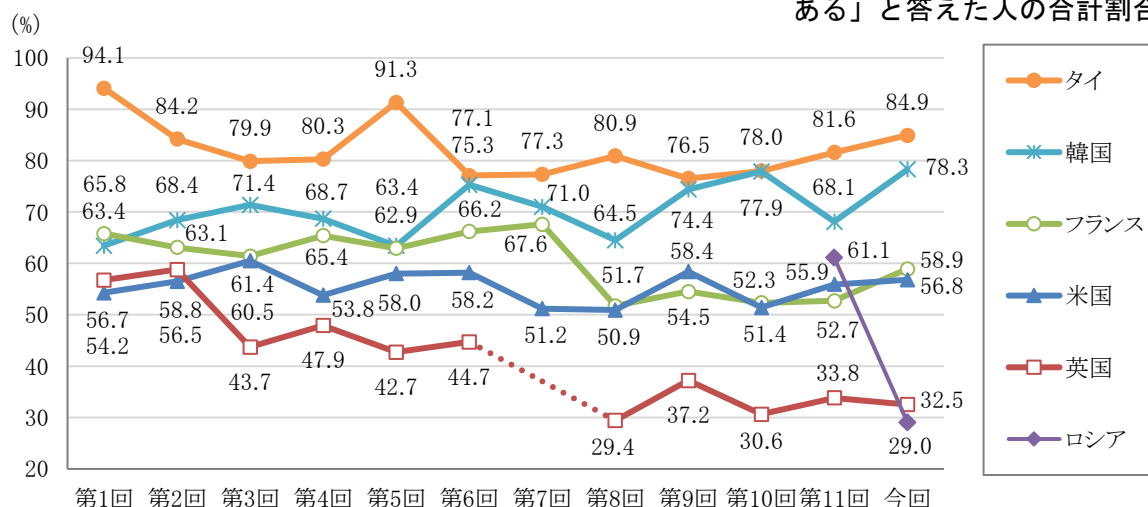
図表 5 各国間の好感度（問 1）－「好感が持てる」と答えた人の割合

		1位	2位	3位								
		対象国										
【今回】		日本	米	英	仏	ロシア	中国	韓国	タイ			
実施国	米	86.5	82.1	81.0	75.4	17.0	37.1	50.9	73.4			
	英	82.6	55.4	72.1	71.5	15.8	40.4	42.2	74.0			
	仏	85.4	51.9	81.5	78.8	25.3	42.1	68.1	70.0			
	韓国	56.4	68.5	68.0	62.6	22.1	28.3	91.3	48.1			
	タイ	94.7	74.1	88.9	80.1	34.7	70.4	75.1	99.1			
	ロシア	56.5	37.7	30.6	34.8	96.1	84.5	61.7	62.2			
【第11回】		対象国										
		日本	米	英	仏	ロシア	中国	韓国	タイ			
実施国	米	87.8	86.9	85.8	78.5	13.5	28.5	53.1	72.2			
	英	81.4	61.4	79.4	72.1	15.4	38.6	45.8	73.4			
	仏	80.0	56.4	78.2	82.2	24.8	36.8	62.6	66.2			
	韓国	40.6	74.6	68.5	64.3	20.1	27.7	86.3	52.3			
	タイ	93.1	84.0	90.3	82.5	38.9	67.4	69.6	97.6			
	ロシア	69.0	38.3	38.3	47.9	93.7	88.5	64.1	70.2			
【第10回】		対象国										
		日本	米	英	仏	ロシア	中国	韓国	タイ			
実施国	米	80.4	87.3	83.8	76.7	12.7	20.5	46.2	71.2			
	英	71.1	60.8	77.1	67.0	12.4	24.5	40.5	61.5			
	仏	81.5	68.4	79.9	85.7	23.2	34.1	61.6	70.3			
	韓国	44.0	75.7	74.8	70.1	20.6	30.6	86.0	60.1			
	タイ	91.1	80.8	87.2	78.0	38.6	63.1	66.7	96.5			
【第9回】		対象国										
		日本	米	英	仏	ロシア	中国	韓国	タイ			
実施国	米	84.3	87.6	86.5	83.3	9.7	21.6	49.5	74.4			
	英	79.3	66.4	77.7	76.1	10.1	28.6	43.3	66.8			
	仏	76.8	67.7	75.8	83.3	19.7	27.3	60.2	64.9			
	中国	25.5	27.8	44.9	64.7	45.1	97.8	47.5	59.0			
	韓国	39.9	81.2	76.4	72.9	16.2	24.5	88.4	56.5			
	タイ	94.7	79.6	88.1	86.0	30.6	60.5	74.1	96.7			
		対象国										
		日本	米	英	仏	ロシア	中国	韓国	タイ			
実施国	米	5.3	*	2.6	3.7	*	-9.4	2.5	9.7			
	英	6.0	0.3	*	10.3	*	-0.6	3.0	4.9			
	仏	-1.3	-2.0	8.1	*	*	-5.2	3.1	1.8			
	中国	-0.8	-1.2	-1.8	2.2	*	*	3.9	4.3			
	韓国	8.7	0.2	1.3	2.8	*	1.5	*	-1.9			
	タイ	1.3	-6.0	-3.4	-0.8	*	3.1	1.2	*			

日本についての報道、「科学技術」に期待

- ・日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで 84.9%と最も高く、次いで韓国で 78.3%。以下、フランス 58.9%、米国 56.8%、英国 32.5%、ロシア 29.0%。韓国では前回調査で 10 ㊦低下したが、今回は 10 ㊦上昇した。
- ・日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1 位は 6 カ国すべてで「科学技術」。タイは「観光情報」も同率で 1 位。2 位には、米国、フランスは「国際協力や平和維持活動」、英国は「生活様式や食文化」、韓国は「政治、経済、外交政策」、ロシアは「観光情報」が続いた。

図表 6 日本が報道されると関心を持つか（問 2） — 「とても関心がある」と「やや関心がある」と答えた人の合計割合



図表 7 メディアに期待する報道内容（問 3）

(%)

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位
米国	科学技術 79.1 (81.9/81.3) 1←1←1	国際協力や 平和維持活動 75.3 (76.5/75.4) 2←2←2	政治、経済、 外交政策 65.6 (67.9/67.5) 3←3←3	生活様式や 食文化 63.4 (63.6/63.1) 4←4←4	観光情報 61.8 (60.3/58.3) 5←6←6	歴史と文化 58.0 (61.9/62.9) 6←5←5	ファッション、 アニメ、音楽 49.4 (50.0/46.3) 7←7←7
英国	科学技術 59.0 (61.3/58.8) 1←1←1	生活様式や 食文化 47.0 (50.0/40.3) 2←2←4	国際協力や 平和維持活動 46.4 (48.5/43.2) 3←4←2	歴史と文化 46.1 (49.4/42.9) 4←3←3	観光情報 41.4 (44.2/34.5) 5←5←5	政治、経済、 外交政策 39.2 (41.2/33.9) 6←6←6	ファッション、 アニメ、音楽 25.9 (27.3/22.0) 7←7←7
フランス	科学技術 54.7 (49.8/50.0) 1←1←1	国際協力や 平和維持活動 45.6 (39.6/37.5) 2←2←4	歴史と文化 42.6 (38.7/39.0) 3←3←3	政治、経済、 外交政策 41.6 (36.0/36.5) 4←4←5	生活様式や 食文化 40.0 (35.6/41.0) 5←5←2	観光情報 35.3 (29.2/32.1) 6←6←6	ファッション、 アニメ、音楽 27.6 (20.1/23.7) 7←7←7
韓国	科学技術 82.1 (77.1/77.0) 1←1←1	政治、経済、 外交政策 76.2 (72.6/74.6) 2←2←2	国際協力や 平和維持活動 75.3 (69.2/70.2) 3←3←3	観光情報 62.7 (56.0/56.1) 4←4←5	歴史と文化 58.2 (54.9/58.8) 5←5←4	生活様式や 食文化 56.2 (49.0/50.7) 6←6←6	ファッション、 アニメ、音楽 45.3 (41.0/37.3) 7←7←7
タイ	観光情報 91.7 (92.1/87.6) 1←1←1	科学技術 91.7 (90.0/87.1) 1←2←2	国際協力や 平和維持活動 87.2 (83.9/78.9) 3←3←3	政治、経済、 外交政策 80.2 (75.8/74.0) 4←5←4	生活様式や 食文化 78.2 (81.9/73.5) 5←4←5	歴史と文化 73.1 (75.8/67.0) 6←5←6	ファッション、 アニメ、音楽 64.6 (74.7/63.2) 7←7←7
ロシア	科学技術 76.3 (84.5) 1←1	観光情報 68.9 (71.8) 2←2	歴史と文化 63.8 (68.4) 3←3	生活様式や 食文化 55.2 (61.5) 4←4	国際協力や 平和維持活動 40.8 (59.3) 5←6	政治、経済、 外交政策 38.7 (61.2) 6←5	ファッション、 アニメ、音楽 34.3 (50.2) 7←7

※()内は、左から第11回調査、第10回調査の結果

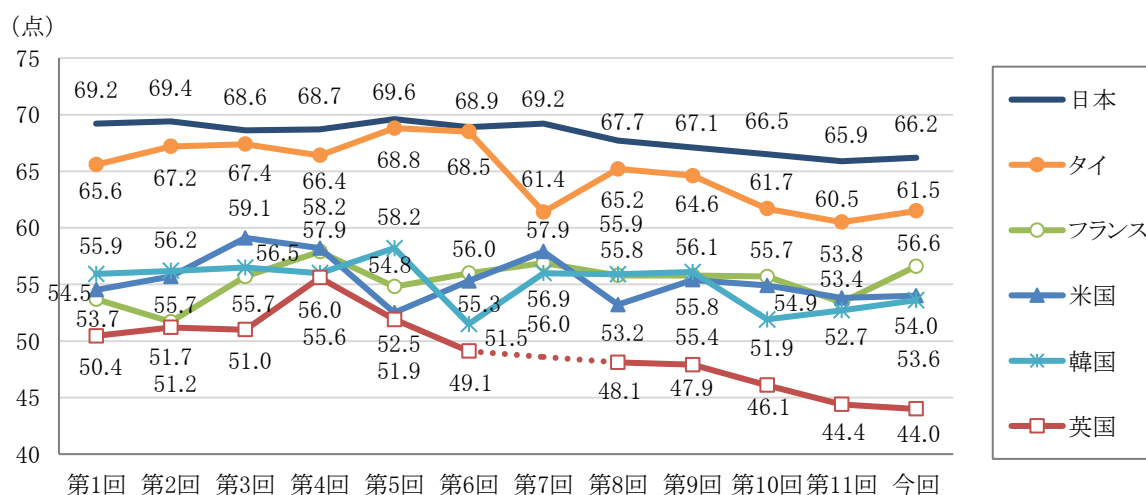
※各国の最下段は順位の変動を示す。左側から今回順位、第11回調査の順位、第10回調査の順位。

青字は順位が上昇、黒字は順位の変動なし、赤字は順位が低下。

新聞の情報信頼度は英国を除き上昇

- ・新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は100点、全く信頼をしていない場合は0点、普通の場合は50点として点数をつけてもらったところ、タイが61.5点で1.0点の上昇、フランスが56.6点で3.2点の上昇、米国が54.0点で0.2点の上昇、韓国が53.6点で0.9点の上昇、英国が44.0点で0.4点の低下だった。昨年7月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は66.2点だった。
- ・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、「気にする」（「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計）と答えた人は、フランスが87.0%で最も多く、次いで米国で85.7%、タイで85.6%。以下、韓国（70.7%）、ロシア（68.3%）、英国（66.4%）だった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが72.5%で最も多く、次いで米国が49.6%、ロシアが44.4%、英国が41.2%。昨年7月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が50.8%、そのうち「いつも気にする」のは14.7%だった。

図表8 新聞の情報信頼度（問6）

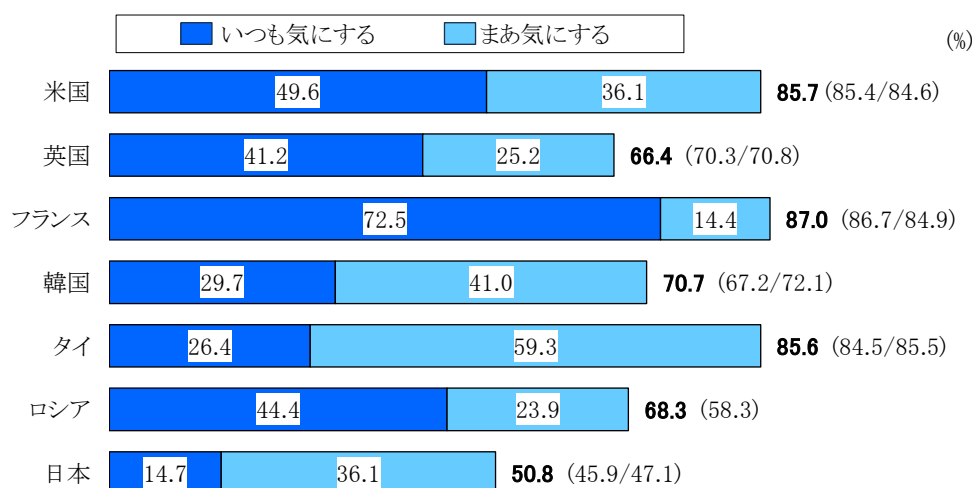


第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 今回

注：米国は0点～10点で質問したので、回答の数値を10倍した。

ロシアでは、今回、この質問はしていない。

図表9 ネットニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか（問5）



※棒グラフ右外の数字は「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計値
()内は、左から第11回調査、第10回調査の結果

ニュース視聴、SNS が存在感

- ・ ニュース視聴利用媒体の1位は米国、タイ、ロシアで SNS (Facebook、X など)、英国、フランス、韓国でテレビ (複数回答)。2位は、米国、ロシアでテレビ、英国で SNS、フランスで新聞、韓国、タイでインターネットのニュースサイト。
- ・ 新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、6カ国すべてで「電子版のみ」が「紙のみ」や「両方」よりも多かった。

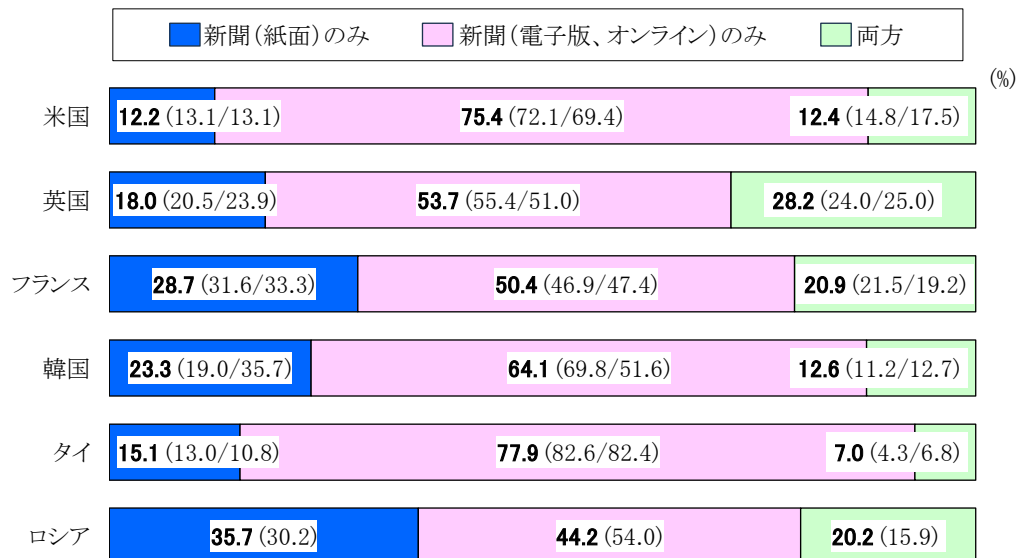
図表 10 ニュース視聴の利用媒体 (複数回答) (問 4)

(%)

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
米国	SNS (Facebook、X など) 56.3 (56.2/50.8)	テレビ 55.9 (59.6/61.8)	インターネットのニュースサイト 54.7 (61.8/60.0)	新聞 39.6 (47.2/48.5)	ラジオ 23.9 (30.0/31.7)	雑誌 8.1 (8.2/9.3)
英国	テレビ 61.0 (56.5/62.1)	SNS (Facebook、X など) 56.4 (49.5/47.3)	新聞 55.3 (52.0/53.1)	ラジオ 46.7 (38.9/41.9)	インターネットのニュースサイト 43.3 (33.7/36.9)	雑誌 10.7 (8.7/11.2)
フランス	テレビ 63.4 (65.7/69.6)	新聞 63.0 (59.9/63.9)	ラジオ 57.5 (58.7/61.6)	インターネットのニュースサイト 51.6 (46.4/46.0)	SNS (Facebook、X など) 50.0 (46.4/46.3)	雑誌 24.6 (24.1/24.8)
韓国	テレビ 53.5 (55.7/62.2)	インターネットのニュースサイト 52.4 (58.4/57.4)	SNS (Facebook、X など) 35.2 (31.1/31.6)	新聞 26.2 (20.5/25.1)	ラジオ 9.1 (9.6/13.8)	雑誌 3.0 (2.2/2.3)
タイ	SNS (Facebook、X など) 95.1 (90.8/92.3)	インターネットのニュースサイト 56.3 (61.2/57.5)	テレビ 54.4 (66.1/59.1)	新聞 8.6 (16.1/7.4)	ラジオ 4.2 (6.8/3.5)	雑誌 0.8 (2.2/1.1)
ロシア	SNS (Facebook、X など) 57.9 (59.2)	テレビ 45.4 (44.1)	インターネットのニュースサイト 37.1 (43.4)	新聞 12.8 (12.6)	ラジオ 10.4 (10.7)	雑誌 3.0 (3.6)

※()内は、左から第11回調査、第10回調査の結果

図表 11 新聞を紙、電子版のどちらで読むか (問 4)

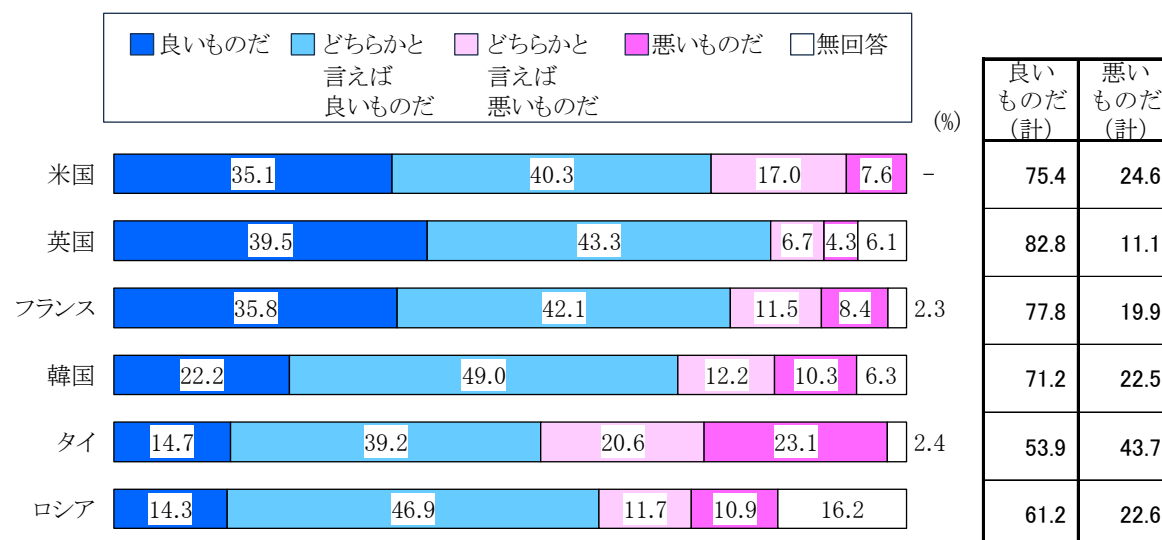


※()内は、左から第 11 回調査、第 10 回調査の結果

代議制民主主義、欧米と韓国では多数が肯定

- ・ 国民が選んだ代表者が法律を作る代議制民主主義についてどう思うか尋ねたところ、「良いものだ」（「良いものだ」と「どちらかと言えば良いものだ」の合計）と答えた人は、英国が 82.8%で最も多く、フランス、米国、韓国で7割台だった。ロシアは 61.2%、タイは 53.9%。

図表 12 代議制民主主義について（問 8）



外国人増加、タイ、英、仏、韓では過半数が肯定

- ・ 国内に、外国人が増えることについてどう思うか尋ねたところ、「良いことだ」（「良いことだ」と「どちらかと言えば良いことだ」の合計）と答えた人は、タイが 72.6%で最も多く、次いで英国、韓国、フランスで5割台と「悪いことだ」（「悪いことだ」と「どちらかと言えば悪いことだ」の合計）の割合を上回った。米国では「良いことだ」48.7%、「悪いことだ」51.1%と意見が分かれた。ロシアは「悪いことだ」が 62.7%と「良いことだ」25.4%を上回った。

図表 13 外国人が増えることについて（問 9）

